



リリースノート

「テスト技術者資格制度 Foundation シラバス Version 2018 V3.1」

2019年10月18日、ISTQB®総会にて、Foundation Syllabus 2018 V3.1のリリースが可決された。

マイナーリリースは、トレーニングプロバイダーへ再アクレディテーションを要求しない。しかし、アクレディテーション団体は、トレーニングプロバイダーに対してトレーニング教材の変更点をレビューし、教材がマイナーリリースにそって更新されている確認をしなければならない。

リリース対象

1. 更新版のテスト技術者資格制度 Foundation シラバス Version 2018 V3.1
2. リリースノート（この文書）

変更内容

シラバスの利用者は以下にリストした変更点を知る必要がある。

- 1章:
 - 「テストプロセス」をキーワードに追加した。
 - 1.1.1節の箇条書きの内容を更新し、いくつかを削除した。
 - 表現や誤記の修正をした。
- 2章:
 - 「変更関連のテスト」をキーワードに追加した。
 - 2.1.2節の最後にソフトウェア開発モデルを適合させる際の考慮事項に関する箇条書きを追加した。
 - 表現や誤記の修正をした。
- 3章:
 - 3.2.3節：レビュータイプにて、3つの段落の位置を最初の方へ移動した。内容に関しては変更なし。

- 3.2.4 節にて、ロールベースドレビューの説明をパースペクティブベースドレビューの後へ移動した。
- 表現や誤記の修正をした。
- 4 章:
 - 4.1.1 節は 4.1 節のイントロダクションに組み込み、4.1.2 が 4.1.1 に繰り上がった。そのため。学習の目的 4.1.1 との関係が明確になった。
 - 4.1.2 節：境界値分析にて、9 の値に関する例を取り除いた。
 - 4.2.3 節：デシジョンテーブルテストにて、組み合わせテストの手法に関する段落を削除し、（簡単化に関して）理解しやすいように文章を書き換えた。
 - 4.2.4 節：(状態遷移テストにて) ガード条件に関する段落を削除した。
 - 4.4.1 節：「誤り」は「エラー」に置き換えた。
 - 表現や誤記の修正をした。
- 5 章:
 - 「欠陥レポート」をキーワードに追加した。
 - 表現や誤記の修正をした。
- 6 章:
 - 「性能テストツール」をキーワードから削除した。
 - 6.1.1 節で列挙したツール分類の数を 26 から 13 に減らした。
 - 6.1.3 節のテスト実行ツールに関して、記載内容を 3 つの箇条書きに整理した。
 - 表現や誤記の修正をした。
- 全般：
 - シラバス参照の記述を略語表記にした。（JSTQB 注：日本語版のシラバスがあるものについては、翻訳の中でシラバスの参照の記述を変更していません。）

2019 年 10 月 18 日

Klaus Olsen

Chair ISTQB® Foundation Working Group